

第4分科会 危機管理

〈研究課題〉危機管理の視点に立った安全・安心な学校の組織・運営体制づくりと校長の在り方
〈趣旨〉

近年、自然環境や学校生活においても、予見することが困難な事態に直面する可能性が高まってきている。学校の危機管理は、個々に関わる事故・事件や地域との連携による自然災害への備え、更にはいじめや不登校、虐待、情報管理等への対応など、広く学校経営全般に配慮しなければならない。そのような状況において、学校は危機管理の体制を確立し、教職員一人一人の危機対応力を高めることが求められている。校長は、様々な危機を想定し、教職員とともに、保護者や地域、関係機関との連携・協働を図り、子どもの安全・安心を確保していく体制づくりを推進することが重要である。

本分科会では、命を守る安全教育・防災教育を推進するとともに、多岐にわたる危機から子どもを守る対応の在り方と未然防止のための具体的な方策と成果を明らかにする。

- 〈視点〉① 学校事故や自然災害等の危機に備えた組織・運営体制づくり（徳島）
② 生徒指導上の課題への対応と未然防止に向けた組織・運営体制づくり（愛媛）